

コロツケ倶楽部 二店舗同時オープン!

八月十日に、ボナーの運営するレストラン&カラオケ「コロツケ倶楽部」が二店舗同時にオープンしました。兵庫県には初の出店となります。これでコロツケ倶楽部は、北は東京から南は沖縄まで、全国八十三店舗になりました。



姫路店
 JR姫路駅から車で約十五分ほどの住宅街の中にあります。建物の中にはゲームセンター、インターネットカフェ、バッティングセンターなどもある複合型アミューズメント施設となっております。近隣には姫路城もあります。兵庫県初進出となり、姫路店が関西エリア拡大の基盤となります。地元の人材のしつかりとした育成がポイントになると 생각합니다。「明るく、笑顔で、元氣よく」をテーマとしてスタッフに伝え、活気ある店舗を作っていくことが私の使命です。本社勤務で二年間学んだことを活かし、どの競合店にも負けない地域一番店を目指してスタッフと力を合わせて頑張っていきます。(店長/高林 英徳)



レストラン&カラオケ **コロツケ倶楽部**
【姫路店】
 〒672-8074 兵庫県姫路市飾磨区加茂203-1
 TEL **079-231-0070**
 全29BOX・24時間営業 年中無休

お得なバックやキャンペーンがあるよ！詳しくはホームページを見てね！今すぐ「コロツケ倶楽部」で検索しよう～!!



レストラン&カラオケ **コロツケ倶楽部**
【霧ヶ丘店】
 〒802-0052 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-4
 TEL **093-932-5700**
 全25BOX・24時間営業 年中無休



霧ヶ丘店
 住宅地のすぐ近く、またフロア全体がカーペットの店舗ということもあり、ご家族連れや高齢者の方に多くご来店いただいております。これからも、このような層のお客様に何度も来たいと思っただけのような、温かい店舗づくりをしていきたいです。お客様もスタッフも笑顔の霧ヶ丘店を目指します！(店長/井本 梨恵)

「グレートカンパニー大賞」受賞!!



船井総合研究所が主催する第86回経営戦略セミナーにおいて、先日発表された「第3回グレートカンパニーアワード」の授賞式が行われ、最高賞である“グレートカンパニー大賞”を受賞した株式会社さわやか倶楽部が招待されました。



8月23日に東京国際フォーラムで行われた授賞式では、内山社長・竹村専務・吉岡部長をはじめ、代表職員計10名が参加し、1300名以上の出席者の前で、船井総合研究所の高嶋栄社長より賞状とトロフィー、副賞として賞金100万円を受け取りました。

また、8月24日には、内山社長による約1時間の記念講演が行われました。講演では、内山社長が米屋時代から培ってきた経験を通して、現在のウチヤマグループに至るまでの経緯や普段取り組んでいる理念の徹底・価値観の共有・サンクスカードなどが紹介されました。



内山さわやか会 2泊3日の旅 家族研修旅行 in 南紀方面

内山さわやか会では、毎年恒例の家族研修旅行が開催されました。今年は、パンダの赤ちゃんが生まれたことでも有名な「白浜アドベンチャーワールド」や世界遺産である「熊野古道」「熊野三山」「那智の滝」そして「伊勢神宮」参拝、江戸時代からの老舗の味や名産品、風習や人情まで再現した「おかげ横町」散策など、日本の歴史、魅力満載の2泊3日となりました。

今回の家族研修旅行では、家族とのふれあいだけでなく、夕食時には参加者の自己紹介も行われ、参加者同士の交流も多くありました。

また最終日には、6月に開所したばかりのさわやか倶楽部の介護施設「さわやかシーサイド鳥羽」の見学を行い、入居者様の明るい笑顔と広大な海を見ることができ、参加者の皆さんは、大変満足された様子でした。8月の猛暑の中での研修旅行でしたが、大きなけがもなく、とても有意義な研修旅行となりました。



(株)アイテック/田川社長の娘さんの作文より



うち山さわやか会 かぞくりよう 二年/田川 愛梨

わたしは、ことしの夏休みにおとうさんのしごとの人たちといっしょに、りょうこうに行きました。一日目は、わか山けんの白はまアドベンチャーワールドです。そこには、アフリカンサファリや水ぞっかん、どうぶつふれあい広ばなど、たくさんのだうぶつたちがいました。その中にはパンダもいました。わたしはパンダを見るのは、はじめてで、ぬいぐるみに見えました。白と黒のもようが、とてもかわいかったです。おとうさん、おかあさんたちも、はじめてパンダを見たといいながら、かわいいと、わらっていました。

二日目は、くまの三社けん学に行きました。その中の一つのじんじゃは、四百六十二だんの石のかいだんをのぼって行きました。わたしはきゆうけいしながら、さいごまで、のぼることができました。上へのぼると、たきが見えて、けしがきれい、かんどうしました。いろいろなじんじゃにおまいりができて、いいことがおこりそうなきもちがしました。

三日目は、いせじんぐうに行きました。いせじんぐうは、とても広くて森の中を歩いているようでした。とちゅうには、にわ鳥が歩いていたり、大きな木がいっぱいあったり、ゆめの中のようでした。いっぱい歩いて、いっぱいあそんで、たのしいおもいでができたりょうこうでした。



(絵:田川 愛梨さん)

芸人さんいらっしやい!

福岡県内および下関市内のコロッケ倶楽部において、地元のテレビ番組「あるあるYYテレビ」とのタイアップで8月に実施したイベント「アニソンのど自慢」の番組PRのために、吉本興業の芸人さんが1日店長として来店しました。8月19日に楽しんでごさん、8月26日にはハイキングウォーキングさんが、コロッケ倶楽部天神駅前店の前にハッピー姿で登場すると、通りを歩いていた人から一気に注目を浴びて、入口の周りにはすぐに人だかりができました。店頭でパフォーマンスをしながらカラオケのクーポンなどを配った後、BOXでカラオケを歌っているお客様のところに突撃すると、お客様もびっくりしながら一緒に歌ったり、記念撮影したりして、この夏の良い思い出になったようです。企画に協力してくださった吉本興業、第一興商のみなさま、ありがとうございました。



ハートフル・ストーリー

本を読み解く力は心なり

『寄席芸人伝』（古谷三敏・小学館）の中にこんな話がある。

その昔、春風亭蝶太という落語家があった。若十八歳、「見習い」時代の話である。蝶太はまだ寄席には上がれない。

しかし、東京・下町のバリ座というストリップ劇場で幕間に落語をすることになった。といっても、相手はストリップを観に来てのお客。しかも、下手な落語ときているから、全くウケない。「引つ込め!」「帰れ!」というヤジが飛ぶ日々である。「どうしたの?それくらいでしょげちゃダメよ」。ある日、楽屋の隅で二人落ち込んでいたら、デージーという踊り子が優しく声を掛けてきた。デージーは二十三歳、バリ座の一番の売れっ子。化粧台は楽屋の真ん中にあつた。

数日後、デージーが舞台で踊っていると熱狂したお客が舞台上に駆け上がり、デージーを抱きつめた。蝶太は助けに駆け寄り、お客を制止する際、つい殴ってしまった。それが原因で蝶太はクビに。デージーは蝶太を酒場に誘って慰める。「嬉しかったわ。ありがとうね。でも、クビは困ったわね。そうだ、私が養つてあげるよ」

蝶太はデージーの「ピエ」になった。一緒に街を歩くと、あちこちから「デージー!」と声を掛けられる。その度に蝶太は「姉さんの人気に障つてはいけない」と、気をきかせて離れる。「バカね。余計な気を遣わないの!」とデージー。

それから十年以上の月日が流れた。蝶太は精進に精進を重ね、人気落語家になっていた。一方、若い子が重宝がられるストリップの世界でデージーの人気はなくなり、親方からは引退を迫られた。そして遂に蝶太が真打ちに昇進する日がやってきた。真打ちがストリップと同棲しているのは世間体が悪いと、デージーは別れを決意した。真打ち披露の日、高座で熱演した後、兄弟子から、「お前のためにデージーはこの町を出て行った」と聞かされる。それを聞いて蝶太はびっくり。「俺があいつを捨てたら、俺は人でなしだ」と泣きながら駅に向つて走った。

改札口を入ると、出発時間を待っているデージーの姿が……。ホームで抱き合う二人。「これから先、あたしはあなたのお荷物になるだけだよ」とデージー。「長いこと、俺おあおめえにオンパされてきたんだ。今度は俺が背負う番だ」、そう言つて蝶太はデージーをオンパする。胸にジーンと染みる人情話だった。

この話、よくよく調べてみたらフィクションだった。春風亭蝶太という落語家は実在しない。そう聞くと、「なーんだ。ウソの話か」とシラケてしまうだろうか。

寺尾聰さんが出演した「阿弥陀堂だより」という映画の中で、九十六歳のおばあさんが作家役の寺尾さんに「小説ついでなのは本当の話か?ウソの話か?」と聞くシーンがある。それに對して彼はこう答える。「ウソの話だけど本当のことを伝えるウソの話です。畑のゴボウはそのままじゃ食えないけど、灰汁を抜いてキンピラにすれば食べられる。どっちのゴボウが本当か?と言つたら、そりゃ畑のほうだけど、ゴボウの本当の美味しさはキンピラにしないと分からない。そういうところかな」

たとえフィクションでも、そこには作者から読者へのメッセージがある。そのメッセージを読み解く力を持つていると読書はおもしろい。たくさんさんのフィクションを読もう。本には無限の力がある。

(水谷もりひと著「日本一心を揺るがす新聞の社説2」より)



さわやか立花館 「理念の実践」の取り組みについて

現在さわやか立花館では、職員が丸となって「理念の実践・生き甲斐作り」に取り組んでいます。また、立花館は早くから「看取り」を行い、看取りをさせて頂いたご家族からは、「立花館に入居させてよかった。心から感謝いたします。」と職員の接遇を高く評価して頂いています。

立花館は高台にあります。広いフロアと大きな窓から目に飛び込んでくる景色は何とも言いえない素晴らしいものです。このゆったりした空間の中で生活される入居者様の中には、入居した時より元気になる方もいらっしゃいます。ご家族の方からは「入居した時からは考えられない。随分と元気になった。」とカンファレンスで言われることが多く、行き届いた看護と介護の賜物だと思えます。介護保険の更新時に認定調査が行われますが、行き届いた看護に対して調査員さんから「ここは病院ではありませんよね。介護施設ですよ。」と感心されることも少なくありません。

今回、そのさわやか立花館での「理念の実践」の素晴らしい実例をご紹介します。



中園 利春様の例

[男性・85歳／平成20年4月入居]

平成19年11月、脳出血(左小脳)を発症し、退院と同時に入居されました。他に①陳旧性多発性脳梗塞及び脳出血②高血圧③糖尿病④解離性胸部大動脈瘤の既往がある方でしたが、入居時は歩行器具にての歩行と、見守りにて杖歩行ができる状態でした。長谷川式スケールは7/30で易怒(いど)的(怒りやすい)性格でした。

平成23年5月に転倒、左大腿骨骨折され、解離性大動脈瘤の既往がある為、手術が出来ずに保存的加療となりましたが、入院中は気分のむらや暴言がありました。病状が安定した8月に退院した時は、リクライニング車椅子に2人で移乗、移動する状態でした。そして、平成23年12月末には発熱、胸部不快感と血圧低下があり救急搬送、平成24年2月まで入院されました。退院され、施設へ戻られた時は胸水が貯まり、低酸素血症、腹部大動脈瘤、無気肺、認知症が新たに診断され、寝たきり、酸素吸入状態でした。当時を振り返ると、よく退院できたと思われる状況です。大動脈瘤がいつ破裂するかもしれないし、様態がいつ急変してもおかしくないで、日中は居室からベッドを出て、食堂、介護ステーション前にて見守りをしていました。この頃の中園様は意欲も非常に低下し、食事は自分で食べることができず、全介助で、たまに食べられても、スプーンで少し口に入れる程度でした。服薬も激しく拒否され、ますます体力も落ち、ターミナルケアとなっていました。そこで、看護、介護の職員は中園様の望まれることは何でもして差し



上げようとの強い思いから、何か中園様の意欲を向上させる手段がないものかと考え実行していました。そうした中、7月21日の夏まつりで、少量のビールが飲めたことが契機となり、意欲が向上しました。今では毎週金曜日のおやつ時に、ビール350mlを飲むという目標を設定したところ、本人様の様子がメキメキ良い方向に向かいました。全介助でスプーンを使用した「お粥ときざみ」の食事が、「ご飯と一口大」に変更となりました。そして、最近は自力でおはしを使って食べられる様になり、介助も不要となりました。ご自分で食べられるようになると「食事が美味しい」と言われるようになりました。食べられる量も増え、体力が戻られて考えが前向きとなり、拒否が多かった薬も、自分で「便が出ない」ことが自覚できるので自分から進んで「飲んでこう」と言われるようになりました。

今後は、車椅子ではありますが居室を出て、多くの入居者様との会話やレクリエーションへの参加、活力朝礼への参加と生活のリズムを取り戻して頂き、外出できるようになって頂きたい、そして別府、明礬温泉旅行へも参加して頂きたいと思えます。今、中園様に「今の楽しみは?」とお尋ねすると「ビールは生きる礎」と嬉しそうに言われます。生きがいを見つけれられたことで、生活を楽しんでいらっしゃる様子です。
(さわやか立花館/ケアマネージャー・栗原英子)

※写真・氏名の掲載にあたっては、ご本人およびご家族様の了承を頂いています。ご協力ありがとうございます。



素敵な日報の中から大発表!

BEST! 日報賞



コロッケ倶楽部 南岩国店
山口県岩国市

稲垣 旭 店長

本日は、嬉しいことがありました。以前、仕事は良く出来るのですが、接客が少し無愛想なスタッフを注意したことがありました。本日は、そのスタッフが受付をしていたので、少し離れた所から様子を見守っていました。

するとそのスタッフは、笑顔で「カードはお持ちですか?」「無料ですので、お作りしましょうか?」とお客様に聞いていました。お客様が後から「やっぱりドリンクバーを付けたいんですが」と言うと、すぐに「大丈夫ですよ」と笑顔で答え、お得な料金プランを案内していました。お客様は「親切ですね、ありがとう」と笑顔で入室されていました。僕もまた笑顔になり、このお客様はまた来店してくれるなと思い、幸せなひと時でした。



さわやかハートピア明礮
大分県別府市

五十嵐 諭さん

本日は“土用の丑の日”でしたが、ニュースでも流れている通り、うなぎが高騰してうなぎ等のメニューを長期入居者様にお出しできない状況となっています。魚屋と交渉して、何とか少量のうなぎを仕入れて夕食時のメイン料理にほんの一切れだけ、うなぎの蒲焼きをお出ししたのですが、わざわざ入居者様が私宛てに手紙を書いてくださり、とても喜んでいただけたとのことでした。日々の食事の際に感じることで、私たちが思っている以上に入居者様は日常のちょっとした変化に敏感に反応していらっしゃいます。そういった心に少しでも届くお料理をお出ししていきたいと思えます。



さわやか田川館
森元 謙一さん

産んでくれて
育ててくれて
ありがとう!

私は、田川郡川崎町の炭鉱社宅で生まれました。生まれて数年後に炭鉱が閉山し、職を失ったお父さんは県外に仕事を求めて、転々としていました。時々お母さんも一緒に仕事に行くと、私達子供は祖母に預けられ、三度の転校も経験しました。子供心に「今度はいつ何処に行くのかな」と思っていました。小学校五年で田川に戻ってきて、父からもう何処にも行かなくていいと言われた時は、嬉しさと寂しい気持ちが入り乱れていました。その年の夏休みからお父さんやお母さんを少しでも助けたいと思い始めた新聞配達では、いつもお母さんが朝早く起きておにぎりを作ってくれましたね。そのおにぎりの味が美味しく

て、今でも鮮明に覚えています。

高校卒業と同時に親と離れ、埼玉の自動車会社に就職して以来、年に一度実家に帰るかどうかの生活を続けていました。それから二十五年後、父の具合が悪いと姉から連絡があり、仕事をやめて田川に戻ってきました。その時、母から「お金儲けせんでも良いから、もうどこにも行かんぞ」と言われた時、今まで一度もそんなことを言わなかったお母さんの言葉が何よりも強く心に響き、近くの警備会社に就職しました。お母さんは毎日、お父さんの介護をしながら私たち家族の世話をしてくれました。

それから六年後に、お父さんが脳幹梗塞で亡くなり、お母さんがお父さんにしていた介護のことが頭から離れなかった為、すぐにヘルパー二級の資格を取りにいきました。その時実習でお世話になったのが、さわやか田川館でした。白土施設長の人柄や職員の方々の対応がとても良かったので「ここで働きたい」と思い、入社を決めました。お母さんはいつも私の健康を気遣ってお弁当を作ってくれていますね。また、夜はどんなに遅くなくても、食事は待っていてくれますね。先に食べてもいいよ、と言っても待っていますよね。いつまで経っても子ども扱いですが、それがお母さんの愛情だと思っています。

最近は手足の痺れや腰の痛みが出てきて、決して体調が良いとは言えませんが、カラオケ教室や体操教室へも通って少しずつ元気になっていますね。一番元気になってもらえる方法は、いつか孫の顔を見せてあげることだと思っています。最後に、こんな素晴らしい仲間や友人、色々な人と出会える素晴らしい世界に生んで下さったお母さん、ありがとうございます。

金子みすゞのふるさと 仙崎・青海島へGo!!

さわやか
はいふつかん
螢風館
福岡県北九州市

こんにちは、デイサービスセンターです。9月6日に青海島へ行ってきました。前々から企画はしていましたが、天候などの理由で延期されていまして。今回、念願叶って実行できました。

長い時間、車にゆられる行程ですが、4名の利用者様が参加されました。天候にも恵まれ、青い空、そして、透き通る海に、皆さん大感動でした。景色を堪能された後、食事でも大喜びでした。海の幸、山の幸を堪能されました。戻られてからも4名の方々は口々に『良かったよ』と言われていました。これからも、皆さんの要望に応えられるよう頑張ります。
(小田 聖司)



各施設からのお便りを集めました!
さわやかだより



さわやか
たがわかん
田川館
福岡県田川市

盆踊り大会

入居者様、ボランティアの皆様、職員が団扇を使って、リズムに合わせ楽しく踊りました。右が平元スタッフ、真ん中が山本様、左のおふたりがボランティアの方々です。凛々しく、勇ましく、バッチリ決まっています。

盆踊りの後は、グループ会社ボナーの料理人さんによっていただいたバイキング料理です。たくさんの料理にスイーツをご用意致しました。もう、お腹ペコペコです。入居者様、皆様で楽しいお食事です。おいしい料理に会話もはずみます。バイキングって、ついつい食べすぎますよね。皆さん楽しい一日ありがとうございます。(室井 富雄)



さわやか
いずみ館
福岡県朝倉市

バーベキュー!

大興奮の真夏のバーベキューの宴、いずみ館の皆さまのハツラツとしたお顔を発信させていただきます。素敵な笑顔で箸も止まりません。焼きそばがとってもおいしかったと入居者様、青空の下鉄板から漂うソースの香り、雰囲気も調味料のひとつです。

「いらっしゃい。お好みの品をお注ぎ致します。」と看護師皆川も大はりきり。こんなおもてなしは久しぶりと田中様も喜んで頂き、徳田施設長と記念にパシャリ。これも素敵な一枚ですね。大満足の須藤様とエビに喰らいつく施設長。皆さま各々楽しんでいただけたようで何よりです。
(清浦 潤一)



グループホーム
さわやか
むなかたのもり
福岡県宗像市

むなかたタウンプレス掲載

『さわやかむなかたのもり』では、ボランティア団体「宗像おもちゃライブラリー」さんの運営されるおもちゃ図書館をよく利用しています。その内容が宗像市の情報誌(むなかたタウンプレス)に紹介されました。

~~~~~抜粋して紹介します。~~~~~

利用できるのは、子供だけではありません。小規模多機能型居宅介護「さわやかむなかたのもり」の人たちも利用しています。スタッフは「遊びに来るだけではなく、施設のレクリエーションで使う的当てなどを借りています。投げる動きが機能訓練に良いみたいです。的に当たった数を数えたり、サイコロの目で足し算をしたりと勉強になっています」と話してくれました。スタッフが「また来ましようね」と話しかけると「はい!」と元気に答えていました。

入居者様に楽しんで頂けるレクリエーションとしてまた利用していきたいと思います。(古賀 美代子)





さわやか  
さくらかん  
桜館  
秋田県仙北市

## 8月度誕生日会!

本日は8月度の誕生日会が行われ、今月誕生日を迎えられる皆様をお祝いさせて頂きました。まずは誕生日会とケーキでお祝い。ちょっと照れた藤井様ご夫婦。ちなみに今日のボランティアは、なんと民謡で日本一にも輝いた秋田民謡御一行様です！素晴らしい出し物に拍手喝采です。最後はいつものハッピーの合唱で締め。皆様の笑顔が弾けた素晴らしい一日でした。(石川 光)



さわやか  
かみ  
こすもす館  
福岡県久留米市

## 朝の風景

こすもす館の朝の風景をご紹介します。こすもす館の朝はこのように感じで一階のフロアに集まり、リハビリスタッフと一緒に色々なことを行います。

例えば今日のリハビリは懐かしの唄である浜辺の歌を歌いました。皆様、朝一と言うのに声をそろえて元気よく大合唱してくれました。ちなみに下の画像は、リハビリスタッフが豆とザルを使って波の音を再現している様子です。あまりに心地良い音だったらしく目の前の入居者様は思わず船を漕いでしまったみたいですね。(藤村 駿介)



## 9月度職員会議

さわやか  
たちばなかん  
立花館  
福岡県福岡市

立花館の職員会議が行われました。ウチヤマグループで取り組んでいる「サンクスカード」の表彰もありました。入居者様や共に働く仲間同士の感謝の気持ちをサンクスカードで相手に伝えていますが、嬉しい事に入居者様からも職員が頂く事もあります。毎月400枚以上のサンクスカードが、書かれています。今回表彰された入居者様は、3階フロアの田畑様です。

笑顔クイーンでもある田畑様は、いつも笑顔で私達職員も沢山のパワーを頂いています。さすが、笑顔クイーンのご笑顔は素敵です。表彰状を渡す高木施設長も笑顔になります。今日も、笑顔でリハビリを頑張っているらしやいました。表彰されて、逆に『ありがとう』と、私達職員に声をかけて下さる優しい田畑様です。絵手紙がお上手で、職員の誕生日には絵手紙でお祝いして下さったり、季節ごとにも描いては職員を幸せな気持ちに下さいます。前回のありがとう特別賞は、同じく3階フロアの林様。毎朝、活力朝礼で『今日は何の日』を調べては発表して下さっています。周りに心配りされる素敵な方です。



これからも、感謝の気持ちでサンクスカードを書いて書かれて…優しい思いやりでいっぱいあふれる立花館を目指します。(野村 美由紀)



## 生中継に遭遇

さわやか  
ゆくはしかん  
行橋館  
福岡県行橋市

畑冷泉に外出レクに行ってきました。RKBの“今日感テレビ”の中継が来ており、ちょうど、生中継が始まりました。畑冷泉は水が本当に冷たくて、私たちが行った時も次々にペットボトルに水を汲みに来られている人で溢れていました。水汲み場の上の“水神社”にお参りをし、その横の大楠の前で写真を撮りました。

帰り際、先ほどの今日感テレビのレポーターさんと一緒に写真を撮って頂きました。めったにないことなので、入居者様も本当に嬉しそうでした。



後列・右から3人目の方がレポーターさんです。今日は、まさにラッキーな一日でした。(出光 亜矢)

# 9月のハートピア明礬

別府八湯のひとつ、明礬温泉は標高400Mにある人気のある温泉どころです。ハートピア明礬には明礬独特の白濁した「単純硫酸泉」と、美肌の湯といわれる「炭酸水素塩泉」の2種類があり別府でも珍しいところで、多くのお客様にご利用頂いています。

気温が少しずつ下がって、過ごしやすい季節になってきました。これからが温泉に入るのに良い季節です。食欲の秋です。ハートピア明礬では9月から「秋のプラン」をご用意しました。料理内容も秋のお料理にしています。明礬の温泉に入り美味しい物を食べて夏で疲れた体を癒しませんか？従業員一同皆様のご来館心よりお待ちしております。(川田 務)



明礬温泉  
さわやかハートピア明礬

大分県別府市大字鶴見1190番地の1  
ご予約・お問い合わせはお気軽に  
ホームページ [www.sawayaka-hotel.jp](http://www.sawayaka-hotel.jp) 0977-66-1321

# 月間宿泊者数 1002名達成!感謝!!

ホテル「さわやか別府の里」では、8月は多くのお客様にご利用頂き、お蔭さまで、開設以来初めて1000名を超える宿泊を達成いたしました。職員一同、心より感謝申し上げます。

さて、9月からは秋のメニューをご用意した「秋ぶらん」をご用意しています。気候も涼しくなり、温泉旅行にはぴったりの季節になりました。近隣の志高湖や鶴見岳の紅葉も彩りをみせはじめています。別府堀田地区でも、温泉成分の多い此処、別府の里の湯は、療養泉に属し、女性に人気の「美肌の湯」と言われています。肌に良い炭酸水素塩泉の温泉とバリアフリーが徹底された「半露天風呂付客室」をリーズナブルな料金でご利用いただけます。また、60歳以上のお客様は、平日に限りシニア割引を実施いたしております。

味覚の秋!さわやか別府の里で、「温泉」「食事」「おもてなし」をどうぞご堪能下さいませ。スタッフ一同、笑顔と元気で皆様のお越しをお待ち申し上げます。(前田 哲実)



別府堀田温泉 さわやか別府の里

大分県別府市堀田4-2(堀田温泉)  
お問い合わせはお気軽にどうぞ!  
ホームページ [www.sawayaka-hotel.jp](http://www.sawayaka-hotel.jp) 0977-26-1117

## ソフトバンクニュース

こんにちは、ソフトバンク香春口店です。「9月」という言葉の響きには、季節の変化が感じられます。そう、「秋」です!!新しい季節に入り、新しい「ケータイ」で秋の行楽を思う存分楽しんでみませんか?

今回の新製品は、ソフトバンクと富士通が初めて共同開発した「アローズ101F」をご紹介します。高画質カメラ機能をはじめ、充実した機能満載で、特にインターネット使用時の「イライラ感」が大幅に解消され、仕事では勿論プライベートでも存分に楽しめる1台です。機種代金も月々1280円(24回払い)で購入頂けます。

ご不明点、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。お電話・ご来店お待ちしております。



ARROWS A  
SoftBank 101F  
ULTRA SPEED 42Mbps 対応  
超映像美と新操作感  
ハイスペック防水スマートフォン

Wi-Fi  
使わないと  
もったいないぞ!



Wi-Fiスポット数No.1\*

SoftBank  
ソフトバンク 香春口店

福岡県北九州市小倉北区  
江南町3-1 内山第27ビル1F  
お気軽にお電話ください  
Tel.093-951-3266  
【営業時間】10:00~19:00

## ディナーショー

### ASANO PATIO EVENT アサノパティオ ディナーショー



#### WET BEANS ウェットビーンズ

ビートルズのナンバーを中心とするフルコピーバンド。その実力はアジアNo.1といっても過言ではない。活動は、福岡県はもとより全国に及ぶ。子供からアダルト層まで必ず耳にしたことのあるビートルズのナンバー。彼らの演奏を聴くと、まるでそこにビートルズがいるような錯覚を覚えます。

2012.10.18(木) ビートルズの曲であればリクエスト可能!!  
ライブでの感動を更に盛り上げます!

1st stage. 開場 17:45(dinner)  
演奏 18:30~19:30

バイキング形式 6,000円  
お一人様

2nd stage. 開場 19:50(dinner)  
演奏 20:30~21:30

[ディナー・ドリンク・ショー・税金・サービス料金込]  
・3drink(ビール・ワイン・ソフトドリンク)付き  
※ご購入されたチケットの時間のみの受付とさせていただきます。

Beer・Rest & Karaoke  
ASANO

Patio

福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目3-28  
※無料駐車場(アサノパティオ立体駐車場)をご利用ください。

お気軽にお問い合わせください  
Tel.093-533-1888 Fax.093-533-7307

# Message From President

ウチヤマグループ代表／内山文治

## 人に喜ばれる「人財」になるべく「困」の「ごんざい」

ウチヤマグループは、皆さんのおかげで順調に成長を続けています。今年四月に、JASDAQへ念願の株式上場を果たし、さわやか倶楽部の介護施設やボナーのカラオケ店舗においては、全国展開を積極的に進めています。ボナーにおいては、カラオケの「コロッケ倶楽部」が八月に兵庫県姫路市に初出し、九月には茨城県へも進出することが決まっています。さわやか倶楽部でも全国で介護施設の開所が続いています。六月に三重県鳥羽市にて「さわやかシーサイド鳥羽」、八月には千葉市に「さわやかゆう輝の里」を開所し、十月以降も大阪市の「さわやか住吉館」、栃木県宇都宮市の「さわやかすずめのみや」、愛媛県新居浜市の「さわやか新居浜館」、福岡県北九州市の「さわやか清田館」と、今後も新規の開所が続々と控えています。

全国展開を進めていく上で、何よりも重要なもの、それは人材です。パナソニック創業者の松下幸之助さんが『事業は人なり』という言葉を残したように、どんな企業においても、「人」なくして事業は成り立ちません。どんなに立派な施設や店舗を作っても、そこに基本理念に共感し、価値観を一体化した仲間がいてはじめて、ウチヤマグループの看板を掲げた事業を展開できるのです。

日本には現在、大小合わせて四三〇万社もの企業があると言われています。すなわち四三〇万人の経営者がいるということです。そしてどの経営者も、常に優秀な人材を求めています。

「じんざい」という言葉には、四つの意味があると言われています。

- ・人財・・・実績もあり、成長が期待できる人、人の宝
- ・人材・・・実績はないけれど成長が期待できる人
- ・人在・・・実績はあるけれどそれ以上の成長が見込めない人
- ・人罪・・・実績もないし成長も期待できない人

「人財」とは、常に高い目標を持って期待以上の成果を出すことで自分

の価値を高め、周囲にも良い影響をもたらす人です。仕事は自分を磨き、社会に貢献するためにあると考えています。そして何より仕事を楽しみ、周囲に感謝します。人の役に立ち、社会貢献できる「人財」になることが大切です。逆に「人罪」は、会社への不満や仲間の悪口を言いつて、他人の足を引っ張ります。幸せになれる人は、決して他人を妬んだり自分の環境を恨んだりしません。人の悪口を言いつと、その言葉が脳の中にインプットされ、自分自身がその通りの人生を歩むことになってしまいます。常に明るく前向きな言葉を発することが大切です。なりたい自分をイメージして目標を口に出すことで、脳が自然にその実現に向けて思考し、行動できるようになります。

言葉と合わせて、私たちの表情も人に大きな影響を与えます。今年の十一月に愛媛県で開所予定の介護付有料老人ホーム「さわやか新居浜館」の看護師・松本麻美さんは、先日本社で行われた研修に参加した際に、「笑顔のあるところには、素晴らしいサービスがあると思います」と言っていました。本当にその通りだと納得しました。研修には松本さんをはじめ新居浜館の社員が四名参加していましたが、みんな笑顔が素晴らしく、研修でもさまざまなことに興味を持って、何でも吸収しようという意欲が感じられました。ウチヤマグループとして初めての四国での開設になりますが、彼女たちならぎつと素晴らしいサービスを提供してくれるだろうと、期待が高まりました。

お金のためだけに働く人が、それ相応の評価しか得られないのは当然のことです。今の給料が安い、もつとたくさん稼げるようになりたいと思えば、今の自分の給料以上の働きをして上司に示してみせることです。今の専務クラスにしても、最初からたくさん給料をもらっていたわけではありません。毎日熱意をもって働き、お客様に喜ばれる仕事をし、会社に利益をもたらす「人財」になれば、上司に認められて抜擢され

るチャンスが必ずやってきます。私が社員なら、まず誰もが認める成績をあげて、それからアピールします。たとえ自分の会社の上司が認めてくれなくても、他社から認められることもあります。私は他の会社や施設、店舗に訪問した時、これはと思う素晴らしい対応をする人がいれば、どうにかして自分の会社に入ってもらえないだろうかというも考えます。そして当社の社員にも、よその会社からスカウトされるくらいの人財になって欲しいと思っています。

私たちは、「お金」という対価だけでは、情熱をもって働き続けることはできません。以前、さわやか倶楽部より少し時給がいいからと言って他社の施設へ移っていった介護のパート職員が、数か月後には「また戻りたい」と言ってきました。転職先の職場は、雰囲気が悪くて笑顔も会話も少なく、陰気で夢がない、毎日楽しんで仕事ができなさわやか倶楽部の方が自分には合っていたとわかったのだそうです。こういう事例は少なくありません。そして私はそのような時、喜んで迎え入れるようにしています。自分にとって働くことの意義や楽しみを見出し、仕事を通じて社会貢献できる環境は、お金には代えられない価値があります。私はそういう会社を皆さんとともにつくっていききたい、そして今よりもっと社会貢献できるように価値観を一体化して、全員の仲間が人から喜ばれる「人財」へと成長してほしいと、心から願っています。



## グレートカンパニー授賞式

さわやか倶楽部が（株）船井総合研究所（以下、船井総研）の主催する「第三グレートカンパニーアワード」で大賞という身に余る栄誉を頂くことになったことを、以前にも報告させて頂いていました。その授賞式が八月二十二日に東京国際フォーラムで行われ、さわやか倶楽部からは私を含めて十名が代表として参加しました。この賞は、全国約五〇〇社ある船井総研のクライアント企業の中から、各業界別には選ばれた三十三社が「グレートカンパニー」としてノミネートされ、さらにそこから六社を特別に表彰するというものです。そして、今回いただいた「大賞」は、その六社の中でも一位の賞にあたるということです。表彰された他の五社は、「働く社員が誇りを感じる会社賞」「ユニークビジネスモデル賞」「業績アップ賞」「特別賞」の四部門に分かれて紹介され、そのうち「働く社員が誇りを感じる会社賞」が二社ありました。それがグレートカンパニーの名に相応しい革新的なオンリーワン企業ばかりで、大変良い勉強をさせていただきました。そして、各企業の考え方の根底には、しっかりと理念があると感じました。この共感、船井総研創業者の船井幸雄先生の経営哲学が、どの会社にも経営指針として浸透しているからであると思います。平成五年、不動産バブルの崩壊時には倒産の噂までされていた当社が、再建・成長し、株式を上場して、この素晴らしい表彰を受けることができるようになったのも、船井先生のお導きがあつてのことです。授賞式のステージでは、不確実性の時代を共に生き、同じ経営思想を勉強し切磋琢磨する、多くの同志に出会えたように感じました。

会場には約一三〇〇名の方々が参加されており、二日間にわたる勉強会を熱心に聞かれました。授賞式は一日目の最後に行われ、各部門で他の五社が表彰された後、当社の紹介は事前に作製して頂いたDVDの上映から始まりました。当社の取り組みの中でメインテーマである入居者様の安心・安全の提供と生きがい作りを実現する数々の取り組みが凝縮されたDVDで、その結果としての高い入居率や福利厚生としての職員誕生日会など、一つ一つの活動に対して会場全体から、関心と興味を持って頂いている雰囲気伝わってきて、改めて身の引き締まるような思いでした。DVD上映の後、全社員を代表して参加した十名で壇上上がり表彰をつけました。

授賞式後の立食パーティーでも、多くの方々からお声かけを頂き、今後お互いに勉強し合っていければと思います。

翌日の勉強会では、私が講師として、一時間程話をさせて頂きました。今回は、事前にリクエスト頂いていたこともあり、内山ビルの創業から、貸しビル業での一時的な成功、そしてバブルの崩壊によってどん底を経験した頃の話も時間をかけてさせて頂きました。普段はその頃の話あまりしたくないのですが、多くの若い経営者の方々が活躍される中で、バブルの崩壊を経験している方は少なくなってきたと思います。売上・利益というものしか見えなくなることで、どれほど恐ろしいことか、私の経験をあえて伝えることで、経営者の方々に少しでもお役に立てれば、参考になればと思います。

そしてさわやか倶楽部が行う安心・安全の提供と生きがい作りの具体的な活動を、スライドを使って紹介致しました。さわやか倶楽部が取り組む生きがい作りは、非常に広い分野にわたり、その活動も数多くあります。そして当社の活動のほとんどは、職員が現場で発想して取り組んだことです。それが非常にお客様に喜んで頂いたという報告を受けて、共感した他の施設が同じ活動を始めるのです。私は、方針として「施設の運営は入居者様が主役ですよ。職員は黒子でありなさい」ということを伝えますが、それを受けて、職員一人一人が自由な発想で、入居者様の生きがいを創造してくれています。

セミナーの中でも話しましたが、バブル崩壊の危機を乗り越えることができたのは、何よりも取引先、社員とその家族、そして当社を信頼してくれたお客様のおかげであると思っています。銀行からの融資が受けられず、全く仕事もな

い状態が一年も続いたにも関わらず、取引業者の方々集まりである内山会(現内山さわやか会)の皆様は、ほとんど退会することなく支えてくれましたし、社員もほとんど辞めることなく、逆にその窮地を打開すべくより一層奮起してくれました。賃貸マンションの家賃収入やカラオケの売上がキャッシュフローを助けたということもありますが、本当の意味で立ち直ることができたのは、やはり温かい心のある人達の力であると思っています。その思いを受け、私の心に、やる気・負けん気の火がつかしました。

今回の授賞式からセミナーまで参加させて頂き、改めて感じたことは、皆様本当に勉強熱心であることです。当社は今回素晴らしい賞を頂きましたが、この結果に満足することなく、常にお客様の幸せを願い、個々が自己成長していく企業グループであり続けたいと思います。



### 今月のオススメ



📖 これからのリーダーに贈る  
船井幸雄の言葉(佐藤 芳直)

📖 七田真の人間学①②(七田 真)

📖 日本一心を揺るがす新聞の社説2(水谷 もりひと)

📖 世界は動く 今日新しい日だ(宮内 義彦)

📖 幸せの種をまくと、幸せの花が咲く(岡本 一志)

📖 心が鎮まる荘子の言葉(王 福振 編)

📖 中国古典の知恵に学ぶ さいこんたん 菜根譚(洪 自誠)

📖 花の冠(大越 桂)

📖 ああ無情(ビクトル・ユゴー)

📖 つみきのいえ(平田 研也・加藤 久仁夫)

# おたより紹介!

## ☒ さわやかさくら山荘

いつも満足して利用させて頂いています。元気で5年以上も利用できる幸せに感謝しています。スタッフの方々も行き届いて一日の様子を送迎の時に聞かせてもらっています。今後ともよろしく願います。(福岡県北九州市・藤井様より)

## ☒ グループホームたいよう

父がお世話になっております。4月に入院した時には皆様毎日来て頂いたりして、退院の時も皆様にお世話になりました。ありがとうございます。退院後も皆様のあたたかい介護で、父も徐々に元気になっております。宮崎ホーム長にも色々電話を頂きながら、私ども安心して過ごしています。本当にありがとうございます。(兵庫県尼崎市・廣垣様より)

## ☒ コロック倶楽部 宮崎赤江店

朝6時にきましたが、スタッフが挨拶も行動もテキパキとしていて、時間があればモップをかけたりしてきれいにしていました。トイレもきれいです。男性の方でしたが愛想も良く笑顔で答えてくれたので、気兼ねなく色々聞けました。赤江店最高です。(宮崎県宮崎市・原田様より)

## ☒ コロック倶楽部 行橋店

とくしげさんの接客態度が素晴らしかったです。一曲歌い終わった後のタイミングを見計らって、ドリンクを持ってきてくれるなど、素晴らしい気配りです。控えめでまじめな態度が最高でした。(福岡県行橋市・三宅様より)



## ☒ ぶながや

入口で迎えてくれた岡崎さんに、禁煙の席を希望したら、煙の来ない席を用意してくれました。それだけでなく、近くのカウンター席には、タバコを吸うお客様を座らせないという配慮までしてくれました。サイコー!(神奈川県横浜市・飯室様より)

# 結婚&出産特集!

Happy Wedding and Baby



Congratulations on marriage!



## やとうまる 八藤丸 竜大さん & 由起子さん

この度、結婚式を迎えることが出来ました。私たち二人のために、内山社長をはじめ皆様に祝福の言葉を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。式を挙げたことで心が引き締まり、家庭を守っていくという気持ちが強く生まれました。これからは二人で力を合わせ、頑張っ参ります。

さわやか立花館 / 介護職員・八藤丸 竜大



## りょう 関本 椋くん

おおきくなあれ!

平成24年 4月12日生まれ

誕生日が内山代表と同じで、コロック倶楽部の創業日とは、将来大物になる予感があります。元気いっぱいに育っています!

★りょうくんのパパ  
コロック倶楽部  
スーパーバイザー・関本 憲司



## ウチヤマホールディングス

# 監査役紹介!

6月に(株)ウチヤマホールディングス(以下、当社)の株主総会が行われ、新たに公認会計士の岸本進一郎先生が監査役に就任されました。合計で4名となった当社の監査役の方々をご紹介します。



### ■ 富山 誠 (常勤)

昭和59年4月  
安田生命保険相互会社入社  
平成17年4月  
株式会社さわやか倶楽部入社  
平成20年3月  
当社監査役就任



### ■ 矢田 逸夫

昭和39年2月  
北九州市役所  
小倉北社会福祉事務所入職  
平成12年3月  
財団法人北九州下水道協会入職  
平成20年6月  
当社監査役就任



### ■ 住川 守

昭和41年4月  
熊本国税局入職  
平成19年10月  
住川守税理士事務所開設  
平成21年7月  
当社監査役就任



### ■ 岸本 進一郎

平成13年10月  
朝日監査法人入所  
平成19年1月  
公認会計士  
岸本会計事務所開設  
平成24年6月  
当社監査役就任

## 私からあなたへ、感謝の

# サンクスカード!



サンクスカードを  
たくさん書いて広めよう!

## ☒ 本社 吉岡部長へ

平成16年11月、入社間もなく、オープンに向けて全員で営業に廻っていました。介護の経験者ばかりの中、まったく素人の私は営業に行っても、質問に答えることも出来なくて、この仕事をやっていけるか自信を失っていました。その頃、日替わりで部長、施設長、いろんな方々がヘルプ、指導に来て下さっていました。その日に来ていただいていた吉岡部長に自信がないことを話すと「じゃあ、あなたははずみ館に来た人だけに説明、案内が出来るようになりなさい。その代わり、はずみ館のことだけは誰より知った人になってください」と言われ「それならできるかもしれない」と肩の力が抜け楽になりました。吉岡部長のあの言葉で辞めることなく頑張ることができ、8年を迎えようとしています。お陰様で見学者の方には自信を持って入居案内、説明が出来るようになりました。吉岡部長は忘れているかと思いますが、いつかお礼が言いたいと思っていました。私も自信を失くしたり、落ち込んでいる職員に力が出るような言葉くばりのできる人になりたいと思います。吉岡部長、ありがとうございました。(さわやかはずみ館 / 吉岡靖子)